

令和2年度 箱根町町政モニター第6回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

町政モニター制度について

○ 調査理由

箱根町町政モニター制度は、昨年度は制度開始の初年度であり、実質的に半年間の試験的な運用のため限られた分野での調査内容でしたが、今年度から本格的な運用を開始し、地域福祉や食生活、箱根町の環境など町の施策に係るアンケート調査を実施しました。

今回の調査では、来年度の制度運用に活かすため、町政モニター制度に参加して考えたことや感想等を伺いました。

○ 回答期間

令和3年3月5日(金)～18日(木)

○ 対象者

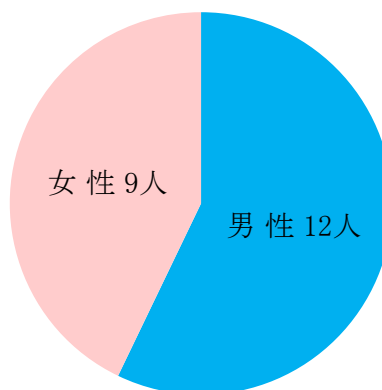
箱根町町政モニター 51人

○ 回答者数(回答率)

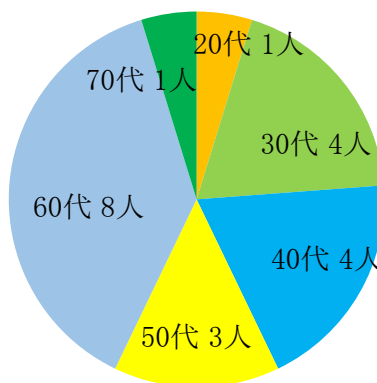
21人(約41.2%)

○ 回答者の基本属性

性別	回答者数	割合
男性	12	57.1%
女性	9	42.9%
合計	21	100.0%



年齢	回答者数	割合
20代	1	4.8%
30代	4	19.0%
40代	4	19.0%
50代	3	14.3%
60代	8	38.1%
70代	1	4.8%
合計	21	100.0%



### ○ 参加したきっかけについて(質問[1], [2])

町政モニターの登録者数は、前年度の35人（令和2年3月）から約1年程で51人（令和3年3月）となり、順調に増加していますが、さらなる登録者増を目指すため、皆さんがどのようなきっかけで本制度を知ったか伺ったところ、「箱根町ホームページ」（52.4%）と「広報はこね」（33.3%）で8割以上を占める結果となり、継続的な広告が重要であることが分かりました。広報はこねでは、令和3年2月号から最終ページ欄外で掲載しており、今後も継続的に周知していきたいと考えています。

モニター登録した理由は、「町に自分の意見を伝えるため」（15件）、「町の取組みを知るため」（10件）の順に多く、町の取組みに目を向けてもらうきっかけになったかと思えます。

### ○ 回答に関することについて(質問[3], [4], [9])

アンケート回答に使用する機器を伺ったところ、「スマートフォン」（52.4%）と「タブレット（その他）」（4.8%）のモバイル機器による回答が多いことが分かりました。また、回答時の不具合や不便な点で『途中で途切れると最初からやり直しになる』ことや、質問[9]で『回答中の制限時間を外してください』とのご意見がありました。

アンケート調査で利用する電子申請システムは、セキュリティの関係上、通信が30分間行われなかった場合にタイムアウト（制限時間切れ）しますが、本システムは県内の複数の自治体で共同運用しているため、改修等を行うことはできません。ご意見を踏まえ、①モバイル機器では回答に手間取る記述式の質問を少なくする、②質問数や記述式回答が多くなる調査はアンケートフォームを複数に分割するなど対応を検討しますので、ご協力をお願いします。

また、質問[9]で『意見が実際に行政運営に反映された事』、『町政にどのような影響を与えたのか』を町民に知ってもらうことが重要であることのご意見がありました。令和2年度第1回アンケート[地域福祉について]の調査結果は、令和3年度からスタートする第3次箱根町地域福祉計画の本編に掲載するとともに、結果から出た意見や課題を計画に反映させています。アンケート結果の中で、町の計画にどのように反映されたか、どのような取組みに活かされているかを一つ一つお伝えすることは難しいですが、集計結果は所管課にフィードバックし、庁内で共有していますので、皆様のお声は町に届いているとご理解ください。

### ○ まちづくりに係る会議やワークショップなどへの参加について(質問[8])

今後、町が開催する会議やワークショップの募集があった場合に、「参加したい」（66.7%）を多くの方に選択いただきました。従来の広報や回覧、町ホームページによる募集以外に、本制度を通じて募集する場合がありますので、よろしく願いいたします。

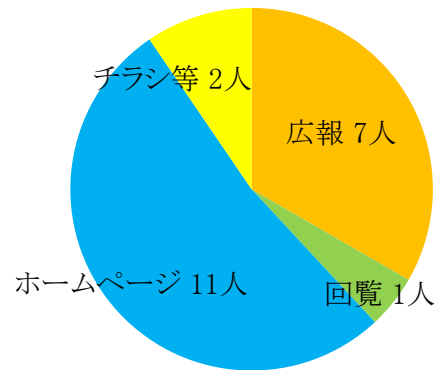
### ○ 総論

令和2年度は、地域福祉や食生活、箱根町の環境など町の施策に係るアンケート調査を実施しましたが、特に記述式の回答や自由記入の質問には、多くのご意見等を寄せていただきました。厳しいご意見もありますが、町政を、より良いものとしたいことの表れであると感じますので、今後とも、ご協力をお願いいたします。

### 3 アンケート集計結果

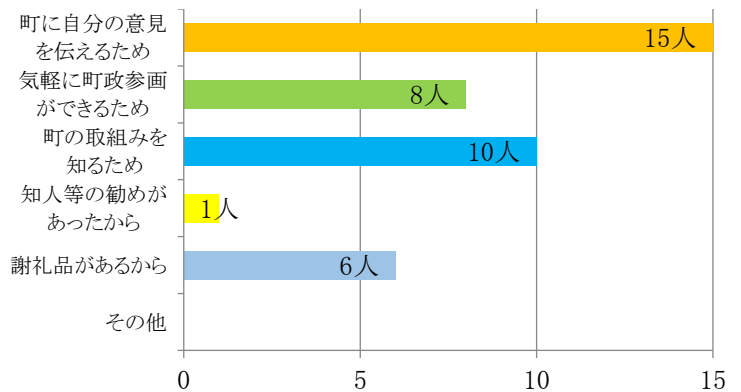
[1] 町政モニター制度を何で知りましたか。

選択項目	回答数	割合
1 広報はこね	7	33.3%
2 回覧まちだより	1	4.8%
3 箱根町ホームページ	11	52.4%
4 モニター募集のチラシ等	2	9.5%
5 その他	0	0.0%
合計	21	100.0%



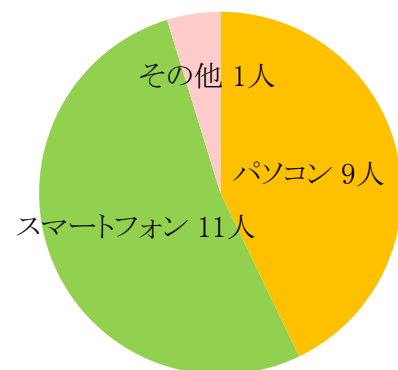
[2] モニター登録した理由を選択してください。(複数選択可)

選択項目	回答数
1 町に自分の意見を伝えるため	15
2 気軽に町政参画ができるため	8
3 町の取組みを知るため	10
4 知人等の勧めがあったから	1
5 謝礼品があるから	6
6 その他	0
合計	40



[3] 通常、アンケート回答に使用している機器は何ですか。

選択項目	回答数	割合
1 パソコン	9	42.8%
2 スマートフォン	11	52.4%
3 その他	1	4.8%
合計	21	100.0%

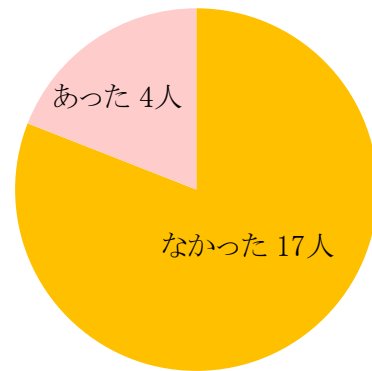


「3 その他」の機器

- ・ タブレット

[4] モニター登録やアンケート調査、メールの受信等について、不具合や不便と感ずることはありましたか。あった場合は、具体的にはどのようなことですか。

選択項目		回答数	割合
1	なかった	17	81.0%
2	あった	4	19.0%
合計		21	100.0%

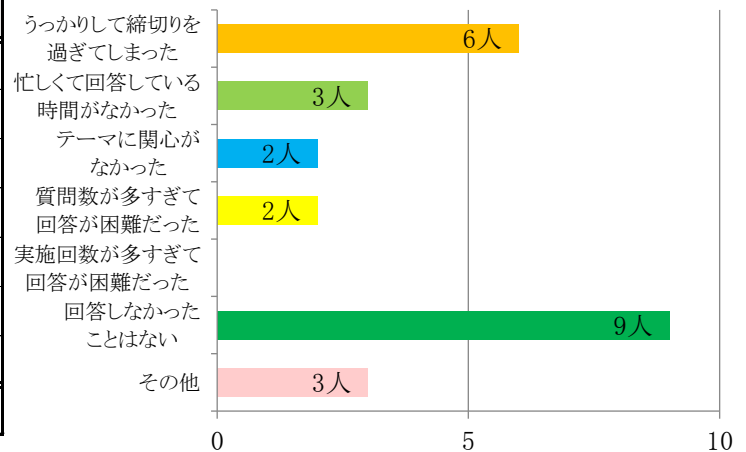


「2 あった」を選択した方の意見

- ・ 毎回ログインのパスワード等を入力しないと入れないこと。
- ・ 途中で途切れると最初からやり直しになることが面倒だった
- ・ 締め切りまでの時間が短い
- ・ 考えてることが伝わり難い回答方法等

[5] アンケートに回答しなかったことがある場合、その理由としてあてはまるものを全て選択してください。(複数選択可)

選択項目		回答数
1	うっかりして締切りを過ぎてしまった	6
2	忙しくて回答している時間がなかった	3
3	テーマに関心がなかった	2
4	質問数が多すぎて回答が困難だった	2
5	実施回数が多すぎて回答が困難だった	0
6	回答しなかったことはない	9
7	その他	3
合計		25

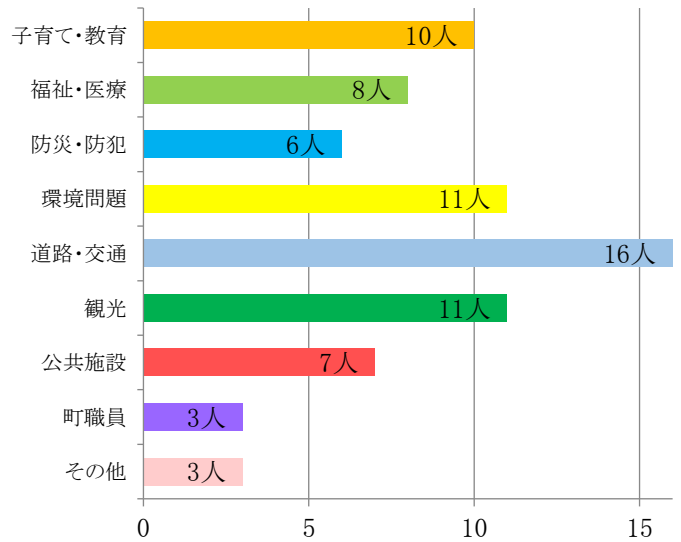


「7 その他」の理由

- ・ 初めての回答です
- ・ (今回のアンケートが)初回
- ・ あったか無かったか覚えていない

[6] 今後、アンケートで取り上げてほしいテーマはありますか。(複数選択可)

選択項目	回答数
1 子育て・教育	10
2 福祉・医療	8
3 防災・防犯	6
4 環境問題	11
5 道路・交通	16
6 観光	11
7 公共施設	7
8 町職員(応対や仕事に関すること)	3
9 その他	3
合計	75

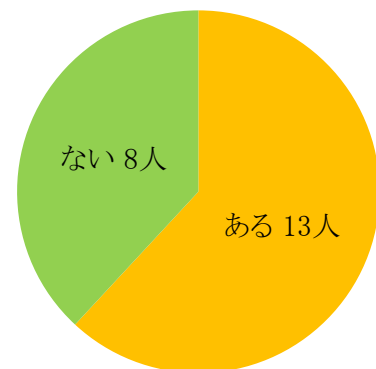


「9 その他」の理由

- ・ 観光以外の経済、事業等についても
- ・ 防災、外国人による箱根町の不動産取得
- ・ 移住促進

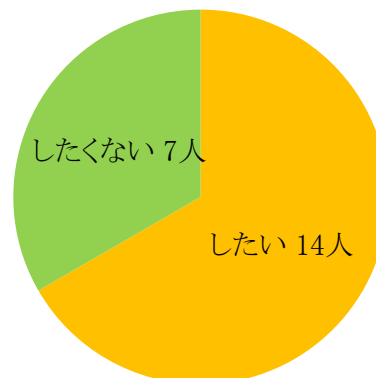
[7] アンケート調査の結果は箱根町ホームページで公開していますが、ご覧になったことはありますか。

選択項目	回答数	割合
1 ある	13	61.9%
2 ない	8	38.1%
合計	21	100.0%



[8] 第5回アンケート調査で町が開催する会議のメンバーを募集しましたが、今後、まちづくりに係る会議やワークショップ※などに直接参加する機会があれば、参加してみたいと思いますか。  
※ワークショップ…あるテーマに沿った体験型の講座、グループ学習、研究集会など

選択項目	回答数	割合
1 したい	14	66.7%
2 したくない	7	33.3%
合計	21	100.0%



- [9] 町政モニター制度をより良くするため、また、モニター登録者数を増やすための取組みについて、具体的なアイデアや意見等がありましたらご記入をお願いします。(自由記入)

区 分	一 覧
制度について	<p>もう少し町民が気軽に参加出来る様なプレゼンをした方が良い。また自分が町政に参加してるんだという自覚を持つ為、参加者には何か記念になる証明があれば興味を持つ人が多くなると思う。(バッジとかカードとか)</p> <p>町民としての誇りが持てる企画ならば若者の参加も期待出来ると思う。またこのモニターの意見が町政に反映されたものは積極的に好評して周知させればやりがいもでると思います。</p> <p>町内で使える日帰り温泉の無料入浴券を配布したり、飲食店でのモニター参加、また、モニターさん集いの町長とのワークショップ参加。本音はモニター参加したことを、みんなに羨ましいと思われるレベルにあげるには、かなり大変かなと思います。ただ、自分達のモニターの声が、少なからず届くような気付きまたは、イベントなどを通して理解を深めることがあれば地道に広がるし、認識されるのではないのでしょうか？</p> <p>これは、全くモニターとは関係ないのですが、うちの付近にある防災放送が、大変聞きづらいため、何を放送されているのかわからないことがあり、災害時には不安があります。改善出来ますか？</p> <p>シニアと若者や中学生と大人などの、世代別交流があると、視点が広がり、関連ネットワークも増える。また、一般的な話題ではなく、具体的な施策につながるテーマも欲しい。例えば、「仙石原から湖尻までの通り沿いに、桜並木を作る」とか「台ヶ岳のすすき小道の先を、ハイキングコースにする」とかのテーマで、意見交流するなどのイメージです。</p> <p>箱根町のHPを見るまで知らなかったもので、認知度は極めて低いと思います。住んでる人、働いている人に知ってもらうにはツイッターなどでの告知や旅館組合などへの協力依頼などでしょうか。</p> <p>モニターの内容等、分かり易く知らせてほしい。</p>
調査結果の反映	<p>「広報はこね」やSNSを通じて、モニターから寄せられた意見が実際に行政運営に反映された事を発信することで、「自分たちの声がちゃんと行政に届く」ということが実感できるように、すべきである。また、より多くの方に関わってもらえるように、定期的(偶数月等)にした方が良い。</p> <p>アンケート調査の結果、町政に何らかの影響があったことが体験出来たり、感じたりすることができれば、参加者はもっと増えるのではないかと思います。そのためにはアンケートの結果を公表するだけでなく、アンケートの結果、町はどのように判断したのか、町政にどのような影響を与えたのかななどを幅広く、かつ分かりやすく町民に伝えていくことが必要だと思います。</p>
システムについて	<p>この電子申請システムでのアンケートはログインなどのハードルが高い。今時であれば神奈川県のコロナ対策パーソナルサポートのようにLINEでのアンケートを使用すれば、より回答者が増えると思います。</p> <p>回答中の制限時間を外してください。一生懸命考えているのに時間です…とって接続を切られたらやる気がなくなる。アホらしい</p>
謝礼品	<p>謝礼があることをアピールして、回覧板にまわす。</p>

区 分	一 覧
その他	10人と色といますが、意見を募集する側のこの町に対しての愛があるかが一番大事なことです。この町の生まれ、育ち、離れ、遠くからこの町をいつくしみ、望郷の念を踏み越え科の街をいつくしむ。そんな人たちであって菱井ですが、無理ですね。質問事項が、単なる情報収集の感から離れなせん。
	質問への回答を質問者に届けて欲しい。

[10] 今年度、町政モニターに参加した感想をお願いします。(自由記入)

No.	感 想
1	箱根町のSDGSの取組を初めて知ったことは、これまでとは違うと感じています。私自身、街の経済活動、文化を維持発展させることに興味があります。これまので、経済モデルでは、箱根町の発展も考えにくいと思いますし、文化的匂いは縮小し薄れていく傾向にあると感じます。モニター活動を通して、改めてそのテーマの重要性を感じました。箱根町に、変化してもらいたいと思っています。
2	行政のモニターは、何度か参加したことがありますが、町内モニターは、初めてでした。アンケートのやり取りのみで簡単ではありますが、ワークショップなどの参加が、実現出来たら更に楽しめたのかなと思いました。この、コロナ禍において、参加出来たことは、印象深いことになりました。そして広報はこねをもう少し、カラーバリエーションを入れて、見やすい誌面になると興味が、更にわくようになるのではないのでしょうか？
3	記述式のアンケートに答えるのは苦勞したが、少しでも町政に参画することが出来て良かったと思います。
4	自由に意見を発信できるのでとても良かった。ログインを登録したメールアドレスと生年月日だけで、入れるありがたい
5	用意された答えを選ぶだけなんだと思いました。モニターってこういうのかな？と。勉強になりました。
6	箱根町に魅力を感じて、将来の永住を見越してセカンドハウスを手に入れたものです。今は、勤務医ですが、美しい箱根町の環境維持などに少しでも尽力できればと思っています。よろしく願います。
7	参加したばかりなのでなんとも。より良い町へなるように、知ってもらえるように協力したいです。
8	何かシステムが分かりにくい。もう少しUIも分かりやすくして欲しい。このアンケートも何回も入力してるし、その度に登録されているメールアドレスとかでエラーになるし。あとはどの位モニターの意見が町政に反映されているかが見えにくいです。やりがいにかけるかな。
9	昨年からアンケートに参加していますが、アンケートの質問項目と町民が問題と感じていることに乖離があるような気がします。
10	モニターでの声が伝わっているのかどうか分からない、これはそのまま回答しようという意欲にも繋がると思う。
11	こうした制度には参加したいが貢献度が良く分からない。
12	自分の意見を伝えたい。